

特集

# 地域活性化の推進

## ～観光資源の魅力を極める～

近年、わが国では、地方から都市への人口流入が長年にならぬままに進み、地方の過疎化が進んでいます。今後も高齢化や人口減少により、地域がさらに衰退すると考えられており、これまでも様々な地域活性化策が採られてきました。

観光は、雇用機会の増大等による国民経済の発展への寄与、国や地域を越えた交流による相互理解の増進といった意義を有しており、少子高齢化・人口減少が進んでいる状況のもとで、地域活性化にとって重要な産業です。

観光地を中心としたインフラ整備は、観光地を魅力的にし、観光地へのアクセスを向上させるなど、地域の活性化に重要な役割を果たしています。また、インフラは日常の生活や経済活動を支えているだけではなく、それ自体が観光資源として活用できる地域固有の財産であり、それらの特性を活かし、普段触れることのできないインフラの内部や工事風景などを見学する「インフラツーリズム」が各地で実施されています。

今号の特集では総論として、「インフラツーリズムによる地域活性化の取組」について概説し、各論として良好なインフラ整備によって地域活性化につながった事例等について紹介します。

特集担当：松岡 佳秀  
国土交通省 住宅局 住宅総合整備課 課長補佐



信濃川の「水辺アウトドアラウンジ」  
(本号 P21～23 「ミズベリング」より)



## CONTENTS

インフラツーリズムによる地域活性化の取組	8
シーニックバイウェイ「秀逸な道」の取組によるドライブ観光促進	12
地域の強みを生かした観光誘客のための道路事業	15
道の駅「伊豆月ヶ瀬」風景と暮らしをつくる交流拠点	18
ミズベリング	21
港を核とした地域活性化と賑わいづくりの創出	24
ようこそ!! 小田原漁港	27